

マルコの福音書 4章 35-41節 黙れ！ 静まれ！

3月の第一第二主日礼拝説教では、私たちはマルコの福音書 4章で、イエスが人々に教られたたとえ話を学びました。

主が教えられたたとえ話は、天の意味を持つ地上の話でした。主イエスは御自分の言葉で神の御国を描かれ、次に御自身が行った奇跡を通して御自身の権威を示されました。

マルコによる福音書 4章の最後の部分からマルコによる福音書 6章にかけて、私たちは主イエス・キリストが行われた奇跡を目の当たりにします。

奇跡とは、人間の理解を超越し、驚きを与え、神の偉大さを示し、神がこの世で働かれていることを人々に認識させる神の御業です。

イエスはマルコ書の中で、自然を支配し、癒しを与え、5000人を養う奇跡を行われました。今日、私たちはその最初の奇跡を見ます。

マルコの福音書 4章 35-37節 35 さてその日、夕方になって、イエスは弟子たちに「向こう岸へ渡ろう」と言われた。 36 そこで弟子たちは群衆を後に残して、イエスを舟に乗せたままお連れした。ほかの舟も一緒に行った。 37 すると、激しい突風が起こって波が舟の中にまで入り、舟は水でいっぱいになった。

イエスは弟子たちに向こう岸に行くよう促されました。岸辺でイエスの話を聞いていた群衆を残し、イエスと弟子たちは湖の向こう岸へと漕ぎ出しました。

群衆は自分たちの肉体的な必要を満たし、願いをかなえてもらおうとイエスのもとに集まっていますが、弟子たちは主イエスに従って歩んでいました。その違いが今日の箇所を示されています。弟子たちは、**向こう岸へ渡ろう**という主イエスの言葉に従い、主と共に漕ぎ出しました。

一方、群衆はその言葉を聞きましたが、用が済むと自分たちの家と生活に戻って行きました。いい話をきいたなあと思った人たちもいれば、何のことやらさっぱりわからないと思った人たちもいたでしょう。

いずれにせよ、それだけで、家に帰れば全く以前と同じような日常生活が始まるだけでした。つまり、彼らはイエスの言葉を聞いただけで、何も変わっていなかったのです。しかし、弟子たちは主の言葉を聞き、その言葉に従い、主イエスと共に湖に漕ぎ出しました。弟子たちは主イエスに従い、何が待っているのかわからないまま、主イエスとともに新しい旅に出たのです。

マルコの福音書 4章 11節 そこで、イエスは言われた。あなたがたには神の国の奥義が与えられていますが、外の人たちには、すべてがたとえで語られるのです。

イエスに耳を傾け、イエスに従う者たちに、主がたとえ話を説明しながら御国の奥義を明らかにされたように、主は弟子たちに御言葉の真理を教えておられるのです。

イエスは嵐が来ることを知っておられました。イエスは全知全能であり、その属性はこれらの聖書箇所にはっきりと示されています。**使徒の働き 1章 24節** **そしてこう祈った。すべての人の心をご存じである主よ。この二人のうち、あなたがお選びになった一人をお示してください。マタイの福音書 9章 4節** **イエスは彼らの思いを知って言われた。なぜ心の中で悪いことを考えているのか。**、主はナタナエルにお会いになる前に彼を知っておられました。**ヨハネの福音書 1章 48節** **ナタナエルはイエスに言った。「どうして私をご存じなのですか。」** **イエスは答えられた。「ピリポがあなたを呼ぶ前に、あなたがいちじくの木の下にいるのを見ました。」**、そして、まだ主が遠くにおられたときラザロが死んだことを弟子たちに告げられました。**ヨハネの福音書 11章 11節** **イエスはこのように話し、それから弟子たちに言われた。「わたしたちの友ラザロは眠ってしまいました。わたしは彼を起こしに行きます。」**

私たちは礼拝で神の御言葉を聞き、キリストの恵みと祝福を受けて、キリストの体として宣教に送り出されます。その先に何が待ち受けているのか、私たちは知っているでしょうか。明日、あるいは今日の午後、何に遭遇するのでしょうか。しかし、信仰者として私たちは、未来は主の御手の中にあると信じ、主の約束に頼ります。しかし、しばしば私たちは平穏で快適な航海を楽しむことにはならず、世の突風や波に翻弄されます。私たちを襲う嵐とは、病気、失業、経済的困難、家族の問題、訴訟、愛する人の喪失などです。もし弟子たちが湖に出ず、岸にとどまっていれば、彼らは無事であったはずで

しかし、これが信仰の父アブラハム以来の信仰者の歩みです。 **ヘブル人への手紙 11章8節 信仰**によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、それに従い、どこに行くのかを知らずに出て行きました。信仰なくして神を喜ばせることは不可能なのです。

38 ところがイエスは、船尾で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生。私たちが死んでも、かまわないのですか」と言った。

嵐が迫りつつあるにもかかわらず、イエスは湖に出ようと決められました。イエスは完全な人であったため、宣教の後、疲れ果て、睡眠を必要とされました。

嵐のため舟は水でいっぱいになっていましたが、イエスの眠りは深く、熟睡されていました。 **詩篇 4篇8節 平安のうちに私は身を横たえ すぐ眠りにつきます。主よただあなただけが安らかに 私を住まわせてくださいます。**主が共におられることを知っているの、神を信頼する者の眠りは甘美で安らかなのです。私たちは、12弟子のうち少なくとも4人、アンデレ、ペテロ、ヤコブ、ヨハネが漁師を生業としていたことを知っています。イエスと一緒に舟に乗っていたのが誰だったかは知らされていませんが、漁師が何人かは乗っていたに違いありません。その彼らが死を恐れるほど怯えていたのです。イエスが共におられたのに、なぜ彼らは恐れたのでしょうか？この世を支配する、かの空中に勢力を持つ者の相次ぐ攻撃や嫌がらせは、私たちに恐れさせ、信仰の旅路において主が共にいてくださることを見えなくさせるのです。しかし、 **ペテロの手紙 第一1章18節 (リビングバイブル訳) 18 神は、あなたがたの先祖が天国への道を外れ、むなしい努力を重ねてきた生き方からあなたがたを救い出すために、身の代金を払ってくださいました。**この事実を決して忘れてはなりません。

聖書は、私たちが直面する嵐にもかかわらず、主の助けによって旅を続けることができることを保証しています。 **詩篇 34篇19節 正しい人には苦しみが深い。しかし 主はそのすべてから救い出してください。**

使徒の働き 14章22節 弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧め、「私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければならない」と語った。

イエスが私たちと直に対面してくださる日への道程で、私たちは試練に遭います。カルバリの丘へ続く従順の道を主とともに歩む中で、私たちは苦難に出会います。ストレス、挫折、失望、葛藤、病気など、数えきれないほどあります。すべてをご存じのイエスは **ヨハネの福音書 14章27節**でこう言われました。 **27 わたしはあなたがたに平安を残します。わたしの平安を与えます。わたしは、世が与えるのと同じようには与えません。あなたがたは心を騒がせてはなりません。ひるんではなりません。**

39 イエスは起き上がって風を叱りつけ、湖に「黙れ、静まれ」と言われた。すると風はやみ、すっかり凪になった。

イエスは聖書の中で唯一、眠っていたとされる場面で目を覚まされました。主は何をされたのでしょうか？弟子たちにではなく、自然に語りかけられました。言葉を話されました。黙れ！静まれと言われました。自然は言葉を理解するのでしょうか？反応は即座でした。風も波も止み。静寂が、平和が訪れました。

40 イエスは彼らに言われた。「どうして怖がるのですか。まだ信仰がないのですか。」 41 彼らは非常に恐れて、互いに言った。「風や湖までが言うことを聞くと、いったいこの方はどなたなのだろうか。」

なぜ彼らは恐れたのでしょうか？イエスがおられる場所以上に安全な場所があるのでしょうか？イエスの御前が安全でないとしたら、安全とはどこにあるのでしょうか？

聖書は語ります。 **箴言 18章10節 主の名は堅固なやぐら。正しい人はその中に駆け込み、保護される。** **ルカの福音書 4章10節 10 『神は、あなたのために御使いたちに命じて、あなたを守られる。11 彼らは、その両手にあなたをのせ、あなたの足が石に打ち当たらないようにする』と書いてあるから。** **ローマ人への手紙 8章38-39節 私はいこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、39 高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。**

イエスとは誰でしょうか？イエスは御自身を誰だと言われたのでしょうか。イエスはマルコ書 14:61-62でこう言われました。マルコの福音書 14章61-62節しかし、イエスは黙ったまま、何もお答えにならなかった。大祭司は再びイエスに尋ねた。「おまえは、ほむべき方の子キリストなのか。」 62そこでイエスは言われた。「わたしが、それです。あなたがたは、人の子が力ある方の右の座に着き、そして天の雲とともに来るのを見ることになります。」そして、ヨハネの福音書 4章25-26節 女はイエスに言った。「私は、キリストと呼ばれるメシアが来られることを知っています。その方が来られるとき、一切のことを私たちに知らせてくださるでしょう。」 26 イエスは言われた。「あなたと話しているこのわたしがそれです。」ルカの福音書 7章21-23節 ちょうどそのころ、イエスは病氣や苦しみや悪霊に悩む多くの人たちを癒やし、また目の見えない多くの人たちを見えるようにしておられた。 22 イエスは彼らにこう答えられた。「あなたがたは行って、自分たちが見たり聞いたりしたことをヨハネに伝えなさい。目の見えない者たちが見、足の不自由な者たちが歩き、ツアラアトに冒された者たちがきよめられ、耳の聞こえない者たちが聞き、死人たちが生き返り、貧しい者たちに福音が伝えられています。 23 だれでも、わたしにつまずかない者は幸いです。」

イエスの御業は、イエスが誰であることを証明します。イエスは御自分がメシアであると言っただけでなく、その生涯と御業がそれを証明しました。

弟子たちは非常に恐れました。彼らは、海を静める方がヤハウエ御自身であることを知っていたのです。詩篇は神をそのお方として特定し、その御名に賛美を捧げています。

詩篇 65 篇 5-7 節 私たちの救いの神よ。あなたは恐るべきみわざで 義のうちに答えられます。あなたは 地のすべての果て 遠い大海の信頼の的 です。 6 あなたは 御力によって山々を堅く 据え大能を帯びておられます。 7 あなたは 海のとどろきを鎮められます。その大波のとどろき もろもろの国民の騒ぎを。 詩篇 89 篇 9 節 あなたは海の高まりを治めておられます。波が逆巻くとき あなたはそれを鎮められます。 詩篇 107 篇 29 節 主が嵐を鎮められると 波は穏やかになった。

イエスは嵐を静め 風をもたらし、御自分が肉となったヤハウエ御自身であることを奇跡の中で示されました。

イエスの神性が明らかにされ、弟子たちが恐れおののいたのは、それにふさわしい反応でした。そして、弟子たちは驚いて言いました。 **風や湖までが言うことを聞くとは、いったいこの方はどなたなのだろうか。**

記録された新約聖書の奇跡は、神の力を示し、イエス・キリストにある救いのメッセージを示しています。

ヨハネの福音書 11 章 40-46 節 イエスは彼女に言われた。「信じるなら神の栄光を見る、とあなたに言ったではありませんか。」 41 そこで、彼らは石を取りのけた。イエスは目を上げて言われた。「父よ、わたしの願いを聞いてくださったことを感謝します。 42 あなたはいつでもわたしの願いを聞いてくださると、わたしは知っておりましたが、周りにいる人たちのために、こう申し上げました。あなたがわたしを遣わされたことを、彼らが信じるようになるために。」 43 そう言ってから、イエスは大声で叫ばれた。「ラザロよ、出て来なさい。」 44 すると、死んでいた人が、手と足を長い布で巻かれたまま出て来た。彼の顔は布で包まれていた。イエスは彼らに言われた。「ほどいてやって、帰らせなさい。」 45 マリアのところに来ていて、イエスがなされたことを見たユダヤ人の多くが、イエスを信じた。 46 しかし、何人かはパリサイ人たちのところに行って、イエスがなされたことを伝えた。

では、人生に不安があるとき、私たちはどう対応すればいいのでしょうか？

詩篇 46 篇 1-3 節、神はわれらの避け所 また力。苦しむとき そこにある強き助け。 2 それゆえ われらは恐れない。たとえ地が変わり 山々が揺れ 海のただ中に移るとも。 3 たとえその水が立ち騒ぎ 泡立っても その水かさが増し 山々が揺れ動いても。セラ 10-11 節「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ 地の上であがめられる。」 11 万軍の主はわれらとともにおられる。ヤコブの神はわれらの砦である。セラ

立ち止まり、黙します。祈り、助けを求めます。神は主であり、私たちではないことを覚えます。そして、何があろうとも、神が私たちのために力を尽くしてくださることを信じます。

海の波がどんなに荒くとも、突風が吹こうとも、どんなに怖くとも、主イエスご御自身が私たちと共にいてくださるなら、私たちは必ず主と共に向こう岸に渡ります。

そして、嵐の海を渡るたびに、十字架につけられて復活した神の御子がいつも私たちと共にいてくださることをますます確信します。私たちの救い主であり、神の御子であるイエスは、恐れるな。恐れずに信じなさい。と言ってくださいます。

岸にとどまっていたは、この恵みを体験することはできません。もし私たちが主イエスに招かれたなら、その招きを受け入れ、主イエスに従い始める者は、神の霊の力を経験し、信者へと変えられます。

私たちの救い主であり主であるイエスの招きに応え主と共に舟に乗っていきたいと望まれる方は、ベン牧師、グラント牧師、または私に声をかけてください。イエスはイザヤ書 9 章 6 節で平和の君と呼ばれています。

ローマ人への手紙 5 章 1 節にこう書かれています。 **こうして、私たちは信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。**

私たちは主の晩餐に与ります。もしあなたがキリストを主であり救い主として受け入れ、主に従順にバプテスマを受けられたなら、イエスが私たちの平和の君となられたことを記念するこの食事に参加するようお招きます。私が祈った後、執事がパンと杯を配り、私たちは共に食べ、共に飲みます。祈りましょう。

Mark 4: 35-41 Peace! Be still!

During the first 2 Sundays of March, we studied the parables Jesus taught the people in Mark 4.

The parables are earthly stories with heavenly meanings. Lord Jesus described the kingdom of God using His Words and now He demonstrated His authority through the miracle He performed.

From this last part of Mark 4 going into Mark 5 and Mark 6, we see the miracles performed by our Lord.

A miracle is a divine work of God that transcends human understanding and inspires wonder, displays the greatness of God, and causes people to recognize that God is active in the world.

Jesus performs miracles of control over nature, healing, and provision of food in the book of Mark. Today we see the first one.

Mark 4: 35-38

35 On that day, when evening had come, he said to them, "Let us go across to the other side."

36 And leaving the crowd, they took him with them in the boat, just as he was. And other boats were with him.

37 And a great windstorm arose, and the waves were breaking into the boat, so that the boat was already filling.

Jesus spoke and urged the disciples for them to go over to other side.

Leaving behind the crowd that had been listening to Him on the shore, Jesus and His disciples rowed out to the other side of the lake.

The crowd were gathering to Jesus to have their physical needs met and wishes fulfilled, while the disciples were following and walking with Lord Jesus. The difference is illustrated in today's passage. The disciples were following the words of Lord Jesus, "Let us cross over to the other shore," and rowed out with Him. The crowd, on the other hand, heard the words, but when they were finished, they went back to their own homes, to their own lives.

They could have thought that they heard a good story, or they could have been lost or puzzled. But either way, that's all there is to it, and once they return home, their daily lives will resume as before. In other words, they heard the words of Jesus, but nothing has changed. However, the disciples heard the words of the Lord, obeyed those words, and rowed out to sea with Lord Jesus. They followed Lord Jesus and set out with Him on a new journey, not knowing what awaited them.

Mark 4:11 *11 And he said to them, "To you has been given the secret of the kingdom of God, but for those outside everything is in parables,*

To those who listen and follow Jesus, just as the Lord revealed the mystery of the kingdom to them while explaining the parables, He is teaching the disciples the truth of His Word. Jesus knew the storm was coming. He is omniscient and His attribute is clearly seen in Acts 1:24, *when the disciples said, You, Lord, who know the hearts of all, show which one of these two you have chosen*; when He knew the thoughts of the scribes in Matthew 9:4, *4 But Jesus, knowing their thoughts, said, "Why do you think evil in your hearts?"*, when He knew Nathaniel before ever meeting him for He knew his heart in John 1:48 *48 Nathanael said to him, "How do you know me?" Jesus answered him, "Before Philip called you, when you were under the fig tree, I saw you."*, and He told the disciples when He was still far away that Lazarus was dead in John 11:11 *11 After saying these things, he said to them, "Our friend Lazarus has fallen asleep, but I go to awaken him."* to point out a few.

We hear the Word of God in worship and are sent out on a mission as the body of Christ with His grace and blessing. Do we know what lies ahead? What will we encounter tomorrow? or even this afternoon? But as believers we trust that our future is in the hands of our Lord and rest on His promises. However, oftentimes, we do not enjoy a peaceful smooth sail, but are tossed and turned by the gusts of winds and waves of the world. The storms that strike us could be an illness, loss of job, financial difficulty, family issues, a court case, or the loss of loved ones. What they encountered were the great windstorm and the waves that rocked and almost swamped the boat.

If the disciples did not set out to the sea and remained on the shore, they would have been safe. That is the walk of the believers since Abraham, the father of faith. Hebrews 11:8 *By faith Abraham obeyed when he was called to go out to a place that he was to receive as an inheritance. And he went out, not knowing where he was going.* Without faith it is impossible to please God.

38 But he was in the stern, asleep on the cushion. And they woke him and said to him, "Teacher, do you not care that we are perishing?"

Even with the storm brewing, Jesus decided to launch out to sea. Because Jesus was fully man, He was exhausted and needed some sleep after His ministry.

Jesus' sleep was deep and sound even though the storm was filling the boat.

Psalms 4:8 says, *In peace I will both lie down and sleep; for you alone, O Lord, make me dwell in safety.*

The sleep of he who trusts God will be sweet and peaceful because he knows the Lord is with him.

We know that at least 4 of the 12 disciples, Andrew, Peter, James, and John, were seasoned fishermen. We are not told who were on the boat with Jesus but there must have been some professional fishermen on board. They were frightened to the point of fearing they would die.

Why were they afraid when Jesus was with them?

The attacks and harassment of the prince of the power of the air scare us and blind us to the presence of the Lord with us in our journey of faith.

1 Peter 1:18 of the Message says, *Your life is a journey you must travel with a deep consciousness of God.*

The Scriptures assure us that we will make the journey with the help of the Lord despite the storms we face.

Psalms 34:19 *Many are the afflictions of the righteous, but the Lord delivers him out of them all.*

Acts 14:22 *strengthening the souls of the disciples, encouraging them to continue in the faith, and saying that through many tribulations we must enter the kingdom of God.*

On our way to the day when Jesus will meet us face to face, we will encounter challenges. In our walk with the Lord on the Calvary Road of obedience, we find afflictions. Stress, frustrations, disappointments, conflicts, sickness, to name a few.

Knowing all, Jesus said in John 14: 27 *Peace I leave with you; my peace I give to you. Not as the world gives do I give to you. Let not your hearts be troubled, neither let them be afraid.*

39 And he awoke and rebuked the wind and said to the sea, "Peace! Be still!" And the wind ceased, and there was a great calm.

Jesus woke up from the only time in Bible we are told that He slept. What did He do? He talked to nature, not to the disciples. He spoke actual words.

Peace! Be still! Does nature understand words? The response was immediate. No more wind. No more waves. There was calm. There was peace.

40 He said to them, "Why are you so afraid? Have you still no faith?"

41 And they were filled with great fear and said to one another, "Who then is this, that even the wind and the sea obey him?"

Why were they afraid? Is there any place safer than where Jesus is? If not safe in the presence of Jesus, where is safety?

The Bible tells us these.

Proverbs 18: 10 *The name of the Lord is a strong tower; the righteous man runs into it and is safe.*

Luke 4: 10 *for it is written, 'He will command his angels concerning you, to guard you,'*

Romans 8:38-39 *For I am sure that neither death nor life, nor angels nor rulers, nor things present nor things to come, nor powers, 39 nor height nor depth, nor anything else in all creation, will be able to separate us from the love of God in Christ Jesus our Lord.*

Who is Jesus? Who did Jesus say He is.

Jesus said in Mark 14:61-62 *Again the high priest asked him, "Are you the Christ, the Son of the Blessed?" 62 And Jesus said, "I am, and you will see the Son of Man seated at the right hand of Power, and coming with the clouds of heaven."*

In John 4:25-26, He said, *The woman said to him, "I know that Messiah is coming (he who is called Christ). When he comes, he will tell us all things." 26 Jesus said to her, "I who speak to you am he."*

Luke 7:21-23 *In that hour he healed many people of diseases and plagues and evil spirits, and on many who were blind he bestowed sight. 22 And he answered them, "Go and tell John what you have seen and heard: the blind receive their sight, the lame walk, lepers[e] are cleansed, and the deaf hear, the dead are raised up, the poor have good news preached to them. 23 And blessed is the one who is not offended by me."*

Works by Jesus prove who He is. Jesus not just said He was the Messiah, His life and works proved it. Jesus is who He says He is.

The Disciples were in great fear. They were aware that one who stills the sea is YAHWEH Himself.

Psalms identify God as the One and ascribe the praise to His name.

Psalms 65:5-7 *By awesome deeds you answer us with righteousness, O God of our salvation,*

the hope of all the ends of the earth and of the farthest seas; 6 the one who by his strength established the mountains,

being girded with might; 7 who stills the roaring of the seas, the roaring of their waves, the tumult of the peoples,

Psalms 89:9 *You rule the raging of the sea; when its waves rise, you still them.*

Psalms 107:29 *He made the storm be still, and the waves of the sea were hushed.*

Jesus stilled the sea and revealed in His miracle that He is YAHWEH Himself in the flesh. It was a fitting response of the disciples to be filled with fear as the Deity of Jesus was revealed. And the men marveled, saying, *"Who then is this, that even the wind and the sea obey him?"*

New Testament miracles that were recorded display God's power and demonstrate the message of salvation in Jesus Christ.

John 11:40-46 *Jesus said to her, "Did I not tell you that if you believed you would see the glory of God?" 41 So they took away the stone. And Jesus lifted up his eyes and said, "Father, I thank you that you have heard me. 42 I knew that you always hear me, but I said this on account of the people standing around, that they may believe that you sent me." 43 When he had said these things, he cried out with a loud voice,*

“Lazarus, come out.” 44 The man who had died came out, his hands and feet bound with linen strips, and his face wrapped with a cloth. Jesus said to them, “Unbind him, and let him go.”

So, how do we respond when life is uncertain?

Psalm 46:1-3, 10-11

God is our refuge and strength, a very present help in trouble. 2 Therefore we will not fear though the earth gives way, though the mountains be moved into the heart of the sea,

3 though its waters roar and foam, though the mountains tremble at its swelling.

10 “Be still, and know that I am God. I will be exalted among the nations; I will be exalted in the earth!”

11 The Lord of hosts is with us; the God of Jacob is our fortress.

We stop and remain still. We pray. We ask for help. We remember that He is God, and we are not. And we trust Him to work His power on our behalf, whatever it takes.

No matter how rough the waves of the sea may be, no matter how gusty the wind may be, no matter how scared we may be, if the Lord Himself is with us, we will surely cross over to the other shore with Him.

And every time we cross a stormy sea, we are more and more assured that the crucified and resurrected Son of God is always with us. This is Jesus, our Savior, and the Son of God. He is the One who says, Do not be afraid; just believe.

We cannot experience this grace if we remain on the shore. If we are invited by Lord Jesus, those who accept His invitation and begin to follow Him, will experience the power of God’s Spirit, and be transformed into believers.

If you wish to come with us on the boat with Jesus, our Savior and Lord, please come talk to Pastor Ben, Pastor Grant, or myself.

Jesus is called Prince of Peace in Isaiah 9:6.

Romans 5:1, says *“Since we have been justified by faith, we have peace with God through our Lord Jesus Christ.”*

We shall observe the Lord’s Supper. If you have accepted Christ as your Lord and Savior and have been obedient in baptism, then we invite you to join us in this meal commemorating how Jesus became our Prince of Peace. After I pray the Deacons will serve the bread and cup and we will eat together and drink together.

Let us pray.